

■著者紹介

生田 敏康 (いくた としやす)

早稲田大学法学部卒業、同大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。
現在、福岡大学法学部教授。

主要著作

『民法入門』(共著、法律文化社、2017年)、『民法総則』(共著、同、2018年)、「ドイツ法におけるオプリーゲンハイトについて」早稲田法学会誌41巻、「債権者の協力義務」同44巻、「いわゆる矛盾行為禁止原則について(1)」福岡大学法学論叢41巻2号、「請負契約における注文者の非協力と請負人の報酬請求権」同43巻3号、「請負人の債務(1)(2・完)」同58巻4号、59巻1号、「システム開発の頓挫と開発業者の責任」同59巻3号、「法学教育と民法改正」同59巻4号、「契約利益の不法行為法的保護」同60巻3号ほか。